

＜気軽に健康データ測定ができる場所＞を一発検索・誘導する＜ゆびさきナビ＞！

検体測定室連携協議会 一般生活者向けWEBサイト立ち上げ

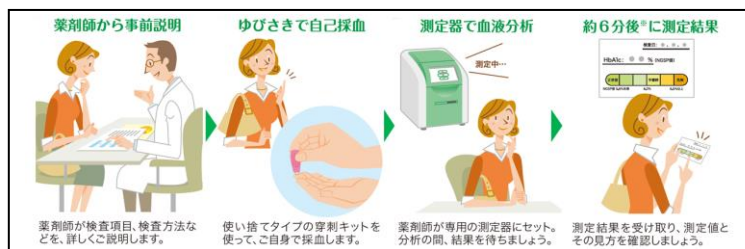
「検体測定室連携協議会(検連協[CSM]代表者:矢作直也)」は9月1日、位置情報と連動する「検体測定室検索システム＜ゆびさきナビ＞(※)」を導入した、一般生活者向けWEBサイト「ゆびさきセルフ測定室ナビ」を立ち上げます。

＜ゆびさきナビ＞(※)はスマートフォン等とリンクし、近所の「検体測定室(ゆびさきセルフ測定室)」を検索して誘導する画期的なシステムです。約1,000件の検体測定室が登録されており、地図や店舗情報のほか、検連協会員の測定室では＜測定できる項目＞や営業時間等の詳細情報も公開し、一般生活者が検体測定室へ気軽にアクセスできる環境を提供いたします。

「ゆびさきセルフ測定室ナビ」は、＜ゆびさきナビ＞のほか、全国各地でイベント開催される非常設の検体測定室情報や、測定した数値の見方、健康関連の情報等をトータルで提供するなど、一般生活者の利便性を追求したWEBサイトとなっています。同サイトは、現在、約2.0%(2015年7月調べ)である検体測定室の一般生活者における認知率を、3年後に20%まで引き上げ、設置件数を現状の約1,000件から5,000件まで引き上げることで、多くの生活者にご利用いただき、その良さを認識していただくことが狙いです。

また、同時に検体測定室運営者向けの会員サイト「ゆびさきセルフメンバーズ」もリニューアル。検体測定室の開設マニュアルや必要書類、開設後の安全性や精度管理マニュアル、生活者への認知向上ツール等を提供いたします。さらに、会員からなるワーキンググループ(今秋立ち上げ予定)で、検体測定室の将来像について議論し、サイトを通して情報発信するほか、運営責任者に対してeラーニングによる外部研修を実施するなど、検体測定室の質の向上をサポートします。

※＜ゆびさきナビ＞:＜ゆびさき＞から採血する検体測定室を、スマートフォンやタブレットなどの画面を＜ゆびさき＞でタッチして検索できることから名付けました。また、＜ゆびさきセルフ測定室＞が健康へのナビゲーターになってほしい、という当会の思いが込められています。



検体測定室では生活習慣病に関連する測定値を薬局や駅の構内など気軽に測定できます。

＜事務局＞ 〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-8-15イトーピア岩本町一丁目ビル4階
電話 03-5833-7045 FAX 03-3865-3107 e-mail info@yubisakiself.jp
担当者：東(あずま)、海老塚(えびづか)、真鍋(まなべ)

* 記者の皆様には事務局内のゆびさきセルフ測定室で、無料体験を実施しています。
ご連絡の上、お気軽にお立ち寄りください。

参考資料

■検体測定室とは

検体測定室とは、指先から自己採血した少量の血液により、健康チェックができるスペースで、2014年4月に制度が開始されました。薬局やドラッグストア、駅構内等の気軽に立ち寄れる場所に設置することで、生活習慣病予備軍等のスクリーニングを簡単に行うことができます。また、生活者のセルフケア意識を高めるとともに、健康診断や医療機関の受診へとつなげることで、生活習慣病の早期発見や早期治療により、重症化の予防が可能となります。

検体測定室連携協議会

<設立> 2015年5月27日

<設立メンバー>

*座長：矢作 直也（筑波大学 医学医療系准教授）

*委員：（五十音順）

上原 明（日本一般用医薬品連合会 会長）

川淵 孝一（東京医科歯科大学大学院 教授、医療経済学分野）

佐守 友博（臨床検査医、日本医学臨床検査研究所 顧問）

霜鳥 一彦（健康保険組合連合会 理事）

杉本 雅史（日薬連セルフメディケーション推進タスクフォースリーダー）

多田 紀夫（東京慈恵会医科大学附属病院 客員教授）

星 北斗（福島県医師会 副会長）

望月 真弓（慶應義塾大学 薬学部 教授）



<事務局> 〒101-0032

東京都千代田区岩本町1-8-15イトーピア岩本町一丁目ビル4階
電話 03-5833-7045 FAX 03-3865-3107 e-mail info@yubisakiself.jp
担当者：東（あずま）、海老塚（えびづか）、真鍋（まなべ）

<WEBサイト>

- ・一般生活者向けサイト：「ゆびさきセルフ測定室ナビ」
<http://navi.yubisaki.org/>
- ・検体測定室運営者向けサイト：「ゆびさきセルフメンバーズ」
<http://www.yubisaki.org/member/>

*** 記者の皆様には事務局内の
ゆびさきセルフ測定室で、無料体験を実施しています。
ご連絡の上、お気軽にお立ち寄りください。**

<イベント情報>

2015年9月11日(金)・12日(土) 新宿駅西口広場イベントコーナーにて開催の一般生活者向けのイベントにて検体測定を実施します。当日は測定もできますので、体験・取材ください。

http://www.jfsmi.jp/pdf/20150825_1.pdf

■ゆびさきセルフ測定室ナビについて



(画面は開発中のものです)

●<ゆびさきセルフ測定室とは?>

「ゆびさきセルフ測定室」とはどのようなものか、をわかりやすくご紹介するコーナーです。中性脂肪(TG)、HDLコレステロール、LDLコレステロール、AST(GOT)、ALT(GPT)、 γ GT(γ GTP)、血糖、HbA1cという、検体測定室(ゆびさきセルフ測定室)で測定可能な8項目と各数値の見方、測定の必要性、実際の測定の流れなどを、イラストや動画を交えてわかりやすく解説いたします。

●<測定室を検索！ ゆびさきナビ>

全国の検体測定室を検索できるシステムです。お住まいのエリアにあるすべての検体測定室について、店舗名、住所、連絡先(※)、営業時間(※)、測定可能な項目(※)などを表示します。また、外部アプリと連携することで、店舗の所在地(地図)や、現在地から店舗までの道順、移動にかかる所要時間などがわかります。 ※ 検連協会会員店舗のみ



【検索画面】

知りたいエリアを都道府県から選択します。



【検索結果画面】

選択したエリア内の検体測定室をすべて表示します。店舗名、住所のほか、検連協会会員店舗は測定可能な項目、電話番号、営業時間、定休日が表示されます。また、“MAP”ボタンを押すと、各店舗の所在地を「Google マップ™」で見ることができます。

(画面は開発中のものです)


※Google マップ は、Google Inc. の商標です。


(画面は開発中のものです)



【Google マップ 画面】(iPhone の場合)

・検索結果の“MAP”ボタンを押したあと、「アプリを使用」を選び、「Google マップ」を起動します。

・ を押し、目的の検体測定室までの移動手段やルートを確認します。

・移動手段やルートを選択後、 を押すと、目的地までのナビゲーションが開始されます。

※ Google マップ は、Google Inc. の商標です。



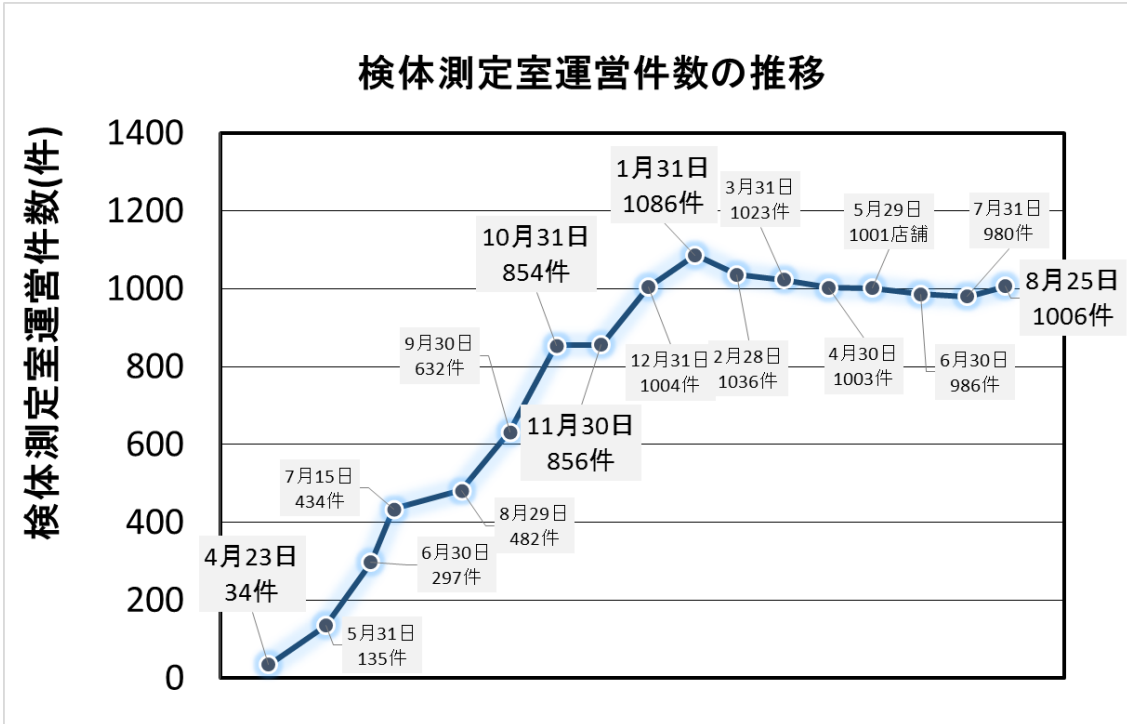
© Google

<検体測定室の現状>

検体測定室の運営件数は、2014年4月の検体測定室制度の発足以降増加傾向を示し、同年12月末には1000件を超えた。その後は制度発足後の届出ラッシュが落ち着き、現在はほぼ横ばいの傾向を示している。

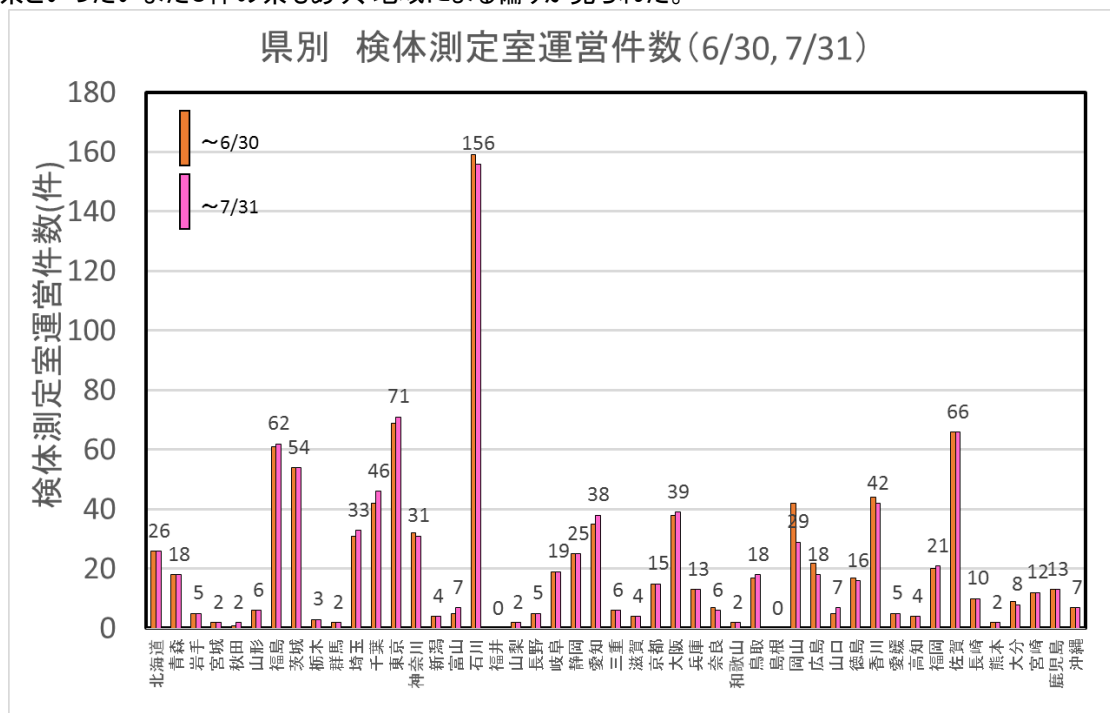
この原因としては以下が考えられる。

- ① 地域医療連携(受診勧奨)の関係構築が難しい
- ② 開設方法、運営方法がわからない
- ③ ガイドラインに対応することが難しい



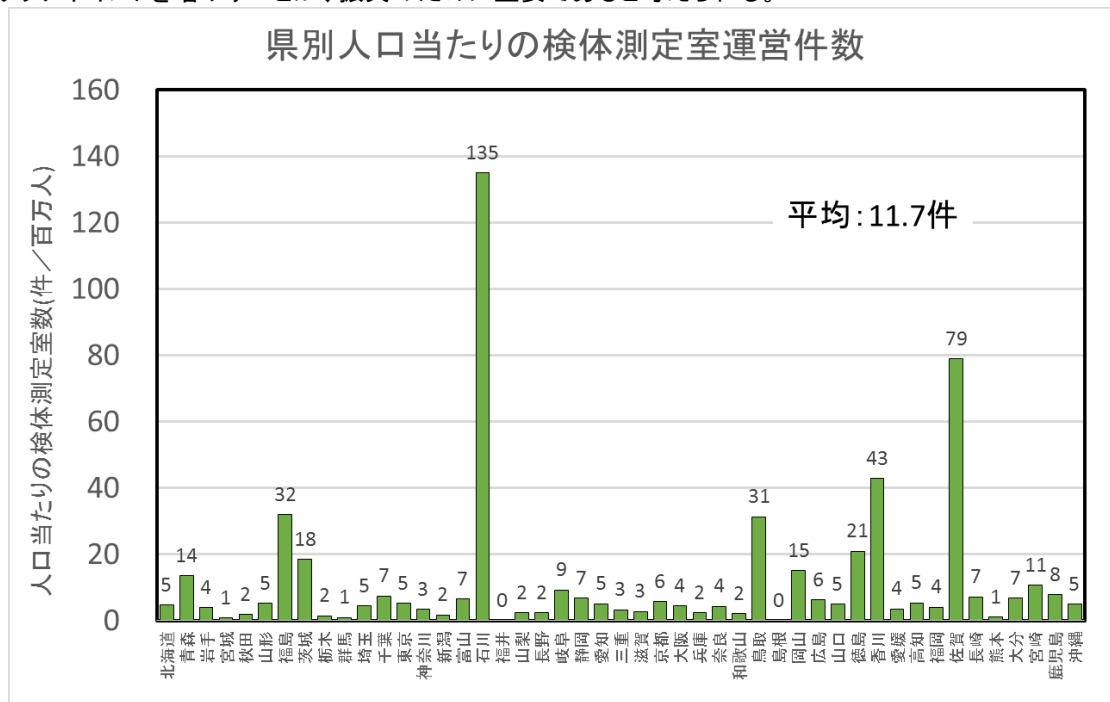
厚生労働省医政局地域医療計画課のデータより「検体測定室連携協議会」作成

県別の届出件数は①石川県②東京都③佐賀県④福島県⑤茨城県の順で多い。一方、福井県、島根県といったまだ0件の県もあり、地域による偏りが見られた。



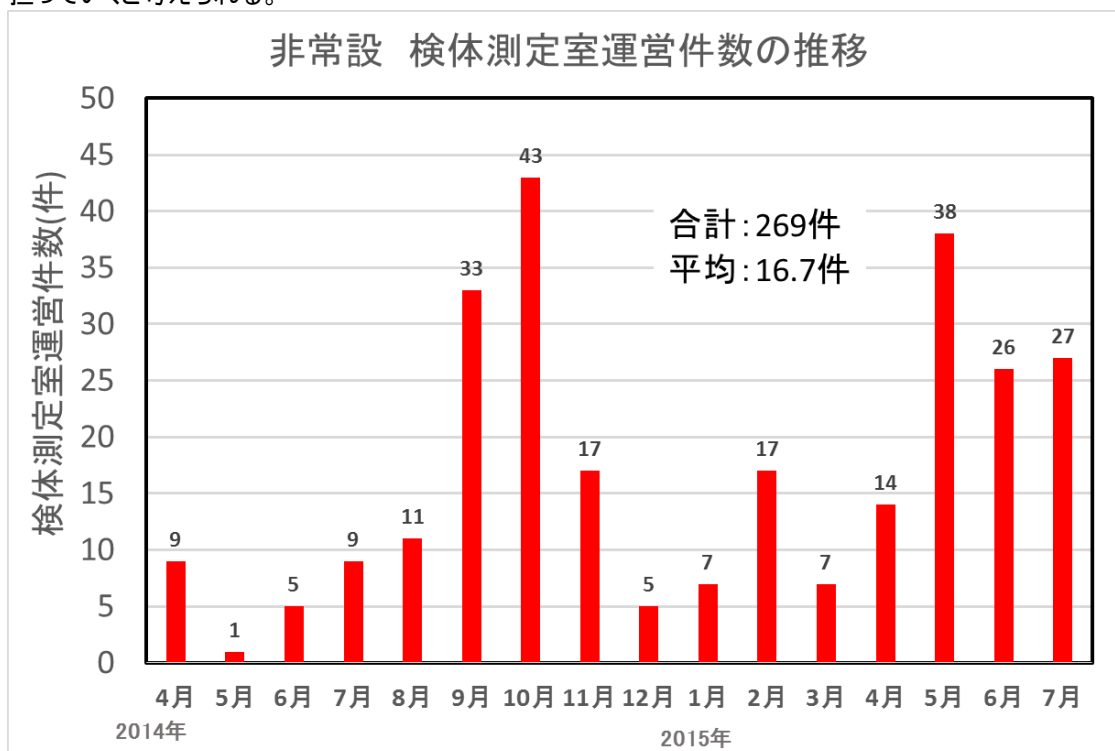
厚生労働省医政局地域医療計画課のデータより「検体測定室連携協議会」作成

県別の人口当たりの届出件数は①石川県②佐賀県③香川県④福島県⑤鳥取県の順で多い。人口 100 万人当たりの検体測定室数の平均は 11.7 件であり、今後件数が増加し生活者に対するタッチポイントを増やすことが、振興のために重要であると考えられる。



厚生労働省医政局地域医療計画課のデータ および 総務省 人口推計(平成 26 年 10 月 1 日現在)より「検体測定室連携協議会」作成

非常設(イベント等)での検体測定室届出の受理数の合計は、昨年4月から今年7月31日までで269件となり、月の平均件数は16.8件であった。今後の普及にはイベント型の検体測定室が重要な役割を担っていくと考えられる。



厚生労働省医政局地域医療計画課のデータより「検体測定室連携協議会」作成

<検体測定室の認知度調査>

本調査は、2015年7月26日から7月28日にかけて、全国の20歳～69歳の男女、計2,500人を対象に行った。

・「検体測定室を知っている」人は約2%と低迷。これからの伸びに期待

検体測定室が誕生して1年4カ月(2014年4月より)経過したが、「検体測定室を知っている」人は全体の2.0%、「聞いたことがある」人を合わせても9.1%にとどまった。検体測定室の愛称として、当会が発足(2015年5月27日)より利用している「ゆびさきセルフ測定室」を「知っている」人は2.1%、「聞いたことがある」人を合わせると9.1%であった。また、この愛称「ゆびさきセルフ測定室」のトレードマーク(右参照)を「知っている」人は1.7%で、「見たことがある」人を合わせると7.2%であった。



当会では3年後までにこの認知率を20%まで引き上げることを目標の一つとしている。

・薬局を訪れる頻度の高い人ほど、検体測定室を知っている

調剤薬局への来訪頻度が「1週間に一度以上」の人で、「検体測定室を知っている」人は16.7%と全体平均(2.0%)に比較して著しく高く、「1年に1回未満」の人では0.3%と著しく低かった。これは現状、検体測定室の多くが調剤薬局で実施されているためと考えられる。また、ドラッグストアへの来訪頻度が「1週間に一度以上」の人においても「検体測定室を知っている」人は5.7%と全体平均よりも高かったが、「1年に1回未満」の人では0%であった。これらの結果は、現状の生活者のタッチポイントが、検体測定室を実施している現場以外にないことが原因であると考えられる。

<会員について>

検体測定室連携協議会は、検体測定室を営む事業者・従事者又は検体測定室に関心のある個人又は法人・団体向けの正会員および、検体測定室の健全な運営と国民の健康維持に寄与しようとする個人又は法人・団体向けの賛助会員の募集を行っています。

		年会費 (一口)	特典		対象
			年会費に含まれる	別途料金	
正 会 員	個人 正会員 (薬剤師等)	¥3,600	<ul style="list-style-type: none"> ・情報入手 (行政通知等) ・資料入手 (マニュアル、各種 開設様式、運用様式) ・情報発信 (HP への店舗 情報掲載等) ・WG 参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・販促物購入 ・研修受講 ・開設相談応需 ・運営相談応需 ・販促相談応需 ・販促応需 ・生活者向け広告掲載 ・研究倫理委員会 等の利用 	本会の目的に賛同する検体測定室を営む事業者・従事者又は検体測定室に関心のある個人
	法人・ 団体正会員 (関連企業等)	¥120,000	<ul style="list-style-type: none"> ・情報入手 (行政通知等) ・リンク掲載 ・WG 参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・推奨機器認定 ・販促相談応需 ・販促応需 ・研究倫理委員会 等の利用 	本会の目的に賛同する検体測定室を営む事業者・従事者又は検体測定室に関心のある法人・団体
賛 助 会 員	個人 協賛会員	¥3,000	<ul style="list-style-type: none"> ・情報入手 (行政通知等) ・WG 参加 (広報等一部) 		本会の目的に賛同し、検体測定室の健全な運営と国民の健康維持に寄与しようとする個人
	団体 協賛会員	¥100,000	<ul style="list-style-type: none"> ・情報入手 (行政通知等) ・リンク掲載 ・WG 参加 (広報等一部) 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活者、薬局等 向け広告掲載 ・アンケート倫理委員会 等の利用 	本会の目的に賛同し、検体測定室の健全な運営と国民の健康維持に寄与しようとする法人・団体

以上